



—解脱会太陽精神碑—

かけはし

第43回 解脱選抜少年剣道錬成大会 盛大に開催!



10月31日(土)解脱会主催による恒例の第43回解脱選抜少年剣道錬成大会が、大会会長である解脱会岡野英夫理事長のご出席のもと、北本市真尾教育長様を始め市関係者、埼玉県剣道連盟豊嶋会長を始め県剣道連盟の先生方、並びに多くのご来賓のご臨席を賜り県内はもとより関東各都県の強豪道場を招待し、錬心館5チームを含む総勢57チームで開催されました。

市長杯と金剛杯を争奪しての本大会は、年々そのレベルも向上し主催道場である錬心館としては、2年ぶりの優勝を目指し、中学3年生を中心に厳しい稽古を積み上げ、代表5チーム共に万全な状態で大会に臨みました。しかし残念ながら解脱C・D・Eチームは予選リーグで敗退、Bチームも決勝トーナメント1回戦で代表戦の末惜しくも敗退し、残すは解脱Aチームのみとなりました。予選リーグからチーム一丸となり、前に前にと技を繰り出し、積極的な試合を展開してきたAチームは準決勝に駒を進め、いよいよ全国屈指の東松館道場との対戦になりました。東松館道場は今年の夏の全国大会で中学生が日本一に輝いており、そのメンバーがA・Bチーム共に別れ、他を寄せ付けない強さで関東強豪道場を破り2チーム共、準決勝に進出し解脱Aチームとの対戦になりました。試合は、小学生が奮起し先手を奪い1(2)-1(1)で中学生勝負となり、一進一退の手に汗握る攻防が続き、三将・副将と引き分け、いよいよ大将戦、錬心館大将は気迫溢れる攻めの剣道で善戦しましたが残念ながら一本を奪われたまま時間となり、1(2)-2(2)の僅差で惜敗、優勝は東松館道場が4年ぶり5回目の栄冠を勝ち取りました。又、今大会にご出席頂いた来賓の方々からは、参加道場のレベルの高さは勿論の事、迎える主催者側の一日を通しての行き届いた対応に対してお褒めの言葉を頂きました。これも偏に大会運営に対しご支援・ご協力を頂きました一般部・後援会・OB門下生のお蔭様であり、改めて心よりお礼申し上げます。

解脱選抜剣道錬成大会結果

- 優勝 東松館道場 (東京)
- 準優勝 東松館剣道スポーツ少年団 (東京)
- 3位 五葉館 (栃木)
- 3位 解脱錬心館A (埼玉)
- 敢闘賞 昭島中央剣友会 (東京)
- 錬心館中央スポーツ少年団 (山梨)
- いばらき少年剣友会 (茨城)
- 鬼高剣友会 (千葉)

★ 解脱錬心館選手 ★

- Aチーム 関根昇・柳 菜・関根悠・濟藤・大西・栗原・新井雄
- Bチーム 内村亜・池田・高野・岡部・内村日・鈴木秀・鈴木悠
- Cチーム 大西・荒井・小嶋・大野・大泉・鈴木陽・林
- Dチーム 田中・友清・及川・日置・新井貴・荒井・若松
- Eチーム 伊藤・柳 瑠・千木良・久保田・矢部・谷口・小林



行事予定



《11月》

○ 館の行事

15日 剣道体験教室・10時～11時（錬心館）

28日 [少年部合同稽古15時30分～16時30分（少年部・全クラス）](#)

※稽古休み **少年部27日（金）初心者・基本クラス※解脱会行事の為**

**一般部17日（火）～19日（木）の
午前中の木刀・ママさん教室は
道場床点検工事の為、稽古をお休みと致します。**

**28日（土）16時～17時の
一般部の稽古はお休み**

一般部特別稽古会

11月21日（土） 15時～17時

11月23日（月・祝）10時～12時

※秋の審査会に向けて頑張りましょう！

○ 大会・審査会

12日・13日 平成27年度中学校剣道新人大会（団体、個人・県立武道館）

14日・15日 七段、六段審査会（名古屋）

15日 第13回桶川べに花杯剣道大会（小中代表・桶川）

18日 女子剣道講習会（一般・県立武道館）

22日 第60回埼玉県剣道大会（一般・県立武道館）

23日 第60回羽生市剣道大会（小中代表・羽生）

24日～27日 審査会 六段24日、七段25日、八段26日・27日（東京）

29日 四段、五段審査会（県立武道館）

○ 受入行事

27日 全国支部長会（解脱会）

28日 第135回解脱金剛御生誕祭（解脱会）

《12月》

○ 館の行事

5日 道場大掃除（9時～11時30分）

7日～25日 錬心館道場床改修工事

※稽古場所・時間が変更となりますので予定表を
確認し稽古に参加下さい。

※今年の稽古納めは、道場床改修工事の為、通常稽古最終日を
納めと致します。



○ 大会・審査会

3日 埼剣連月例稽古会（県立武道館）

6日 埼玉県審議員審査員研究会（埼剣連）

6日 第25回つくば市少年剣道錬成大会（小中代表・つくば市）

12日 第43回関東少年剣道錬成大会（小学生代表・小山）

13日 毎日レディース剣道大会（小中一般女子代表・日野）

13日 第35回片山剣友会招待親善試合（小学代表・新座）

19日 桜南剣友会創立25周年記念大会（小中代表・越谷）

23日 第40回記念館林市近県少年剣道大会（小学生代表・館林）

○ 受入行事

6日 埼玉県剣道連盟審議員・審査員研修会（埼剣連）



《道場床改修工事のお知らせ》

平成4年に竣工された道場も本年度で23年が経過し、この度床の改修工事を行う事となりました。つきましては、門下生の皆様には工事期間中は稽古場所、時間等の変更でご迷惑をお掛けしますが出来る限り、稽古ができるように対応いたしますので宜しくお願い致します。

尚、下記の稽古表を確認し稽古の参加をお願いします。

(工事期間中も、錬心館事務局は通常通り在勤しております。9時30分～17時 月曜は除く)

【稽古予定表】

12月		会場	稽古区分・時間
8日	火	北本東中 体育館	一般 20時～21時
9日	水	北本中 体育館	少年部合同 17時30分～19時
10日	木	北本東中 体育館	一般 20時～21時
11日	金	北本中 体育館	少年部合同 17時30分～19時
12日	土	休み	
13日	日	休み	
14日	月	休み	
15日	火	北本東中 体育館	一般 20時～21時
16日	水	北本中 体育館	少年部合同 17時30分～19時
17日	木	北本東中 体育館	一般 20時～21時
18日	金	北本中 体育館	少年部合同(平成27年・少年部稽古納め) 17時30分～19時
19日	土	休み	
20日	日	休み	
21日	月	休み	
22日	火	北本東中 体育館	一般(平成27年・一般部稽古納め) 20時～21時

※少年部が稽古いたします、北本中学校に駐車はできませんので錬心館駐車場を利用し会場まで徒歩で移動をお願い致します。(路上駐車が必ず無いようお願い致します)

※一般部の稽古は火・木曜日20時～21時(北本東中)です。尚、ママさん教室・木刀教室の方々も上記稽古時間となりますので、併せて参加下さい。

☆昇段おめでとうございます-----

二段 新井聡一郎・久保田湧太 (中3)

一平成27年10月18日取得



～ われいがいみなしなり
我以外皆師也 ～

館長 田中 宏明

☆大会通信

9月

★全日本都道府県対抗少年剣道優勝大会 (大阪)
中学生の部 埼玉県チーム 大将 新井雄大

10月

★中学生地区予選 (桶川)

男子団体 優勝 北本中男子 (県大出場)
女子団体 優勝 北本中女子 (県大出場)
個人男子 優勝 鈴木秀海
準優勝 栗原千裕 第3位 内村日向
個人女子 優勝 谷口美月
第3位 小嶋紅音・大泉波音

★第33回全国道場対抗剣道大会
全国道場少年剣道選手権大会 (栃木)



解脱出場 関根・新井・小林・吉田・米山
北本出場 濟藤・鈴木・田中・上野・濟藤
中学生男子個人・新井雄大 全国ベスト16
・鈴木悠誠 出場
中学生女子個人・小嶋紅音 出場
小学生男子個人・濟藤心楓 出場
小学生女子個人・柳菜々海 出場

★松井剣志会創立10周年記念大会 (所沢)



第3位 (小中混成)
大将・栗原千裕
副将・鈴木秀海
中堅・関根悠成
次鋒・柳菜々海
先鋒・関根昇之介

★平成27年度愛知県道場連盟近藤杯争奪剣道大会 (愛知)



中学女子 敢闘賞
小嶋紅音・谷口美月・大泉波音・若松由希乃

11月

★第13回埼玉県剣道大会・小学生の部 (上尾)



個人戦
4年生の部
優勝 関根昇之介
5年生の部
第3位 柳菜々海
6年生の部
第3位 濟藤心楓

★練兵館創立40周年記念国際親善大会 (小山)



第3位 (中学団体)
大将・新井雄大
副将・林 泰輝
中堅・鈴木悠誠
次鋒・若松将輝
先鋒・栗原千裕

心の準備

◆♪秋の夕日に照る山もみじ 濃いも薄いも数ある中に 秋を彩る楓 (かえで) や 蔦 (つた) は 山のふもとの 裾模様 (すそもよう) ~♪ 気が付けば、今年も紅葉が美しい11月 (霜月) を迎えた。先月の31日には恒例の解脱選抜少年剣道錬成大会を開催し、主催道場ということで5チーム参加させてもらったが、Aチームが3位のみという選手には悔しい結果となった。又、昨日の3日の文化の日には、これも恒例の全日本選手権大会が開催され、晴れの日本一を目指して各都道府県の厳しい予選を勝ち抜いた若き精鋭剣士が日本武道館に集い、まさに鎬を削る戦いが展開され、熊本県代表の西村英久選手が見事、天皇杯に輝いた。

◆我が解脱会の会祖、解脱金剛尊者は「11月をもって年末とせよ」と諭された。12月を迎えてから年末だ、年越しだと右往左往するのではなく、11月には一年のまとめが出来て、12月になったら新年を迎えられる位の心のゆとりが持てるように準備をしなさいとご指導されたそうだ。私も、毎年11月になるとこのお言葉を思い出しては、そうありたいと努力の真似ごととはするのだが、一度もその境地に達したことが無い。なぜ出来ないのか? 最近になって、11月になってからやろうとしても、それではもう遅いということに気が付いた。少なくとも3か月前や半年前から準備をしなくては、いや新年を迎えた元旦のその日から心の準備をして、毎日の生活の中で努力を積み重ねていかないと11月をもって年末には出来ない。遅ればせながら、やっとそこに気が付くことが出来たが、同時に、それには大変な努力が必要で私のような怠け者には到底無理な事だということにも、恥ずかしながら気が付かされた。◆剣道も同じで、一足一刀の間合いに入ってから打突の準備をしてもそれでは遅いし、相手の隙が観えてから打突しては手遅れだ。試合場に入って、相手と立ち合って礼をする瞬間から集中して心の準備をしていないと相手を制する事は出来ない。散歩をしている人が「今日は天気も良いし、体調も良いから富士山に登ろう」という人はいない。日本一の富士山に登るには登るだけの準備をしなければ、頂上を目指すことは出来ない。物事を成し遂げるには何事にも準備が大切であり、まして、それが大きな目標であればあるほど、それだけ入念な準備が必要となるはずだ。◆全日本選手権大会での勝者も敗者も、翌日には更に厳しい稽古に励んでいると聞き及ぶ。来年に向けた戦いは、もうすでに始まっているのだ。負けて腐らず、勝つてなお謙虚に、ここに勝負の厳しさと美しさがある。今日の悔しい負けも挫折も、辛く苦しい出来事や我慢できない悲しみも、みんなみんな、やがて大きな花を咲かせる為の大切な「心の準備」をしているのだ。高いハードルを跳ぶためには、それだけ長い助走が必要となる。焦らず、挫けず、常に心の準備を怠らず、益々の精進を期待するものである・・・。

編集後記

先日の主催大会では、大勢の方々にご協力を頂きありがとうございました。さあ~今月に中学生の新人戦、中学2年生を中心に猛稽古中、頑張れ門下生! (Y)